

T・G・A・L～校長室だより～

令和2年7月15日（水）発行 第8号

○ 1学期末考査 始まり、終わる。 『努力の上に 花は咲く』

7月14日・15日と1学期末考査が行われました。中間考査がなかったので、1年生にとっては初めての定期考査となりました。

7月14日の朝は、倉敷市に朝から大雨警報と洪水警報が出ていましたが、朝の8時前に1F廊下を通ると、3年生の1組・2組では早く来た生徒が試験勉強を頑張っていました。隣の朝学習会場では3年生の中に1・2年生も混ざって試験勉強に取り組んでいました。誰かが声を発するのでもなく、真剣そのものでした。

学生時代、大学浪人の経験がある私は、まるで“予備校の自習室”のような一生懸命さを感じました。人が一生懸命取り組む光景はとても美しい。驚くべきことはこのような光景が、試験当日だけでなく、試験週間が始まった先週から連日続いていることです。特に3年生は修学旅行中止のショックがあったにも関わらず、「それはそれ。これはこれ。」というふうに頑張っている様子が見受けられました。うーん、すごい。という結果が出るかわかりませんが、答案がかえってくるのが楽しみです。



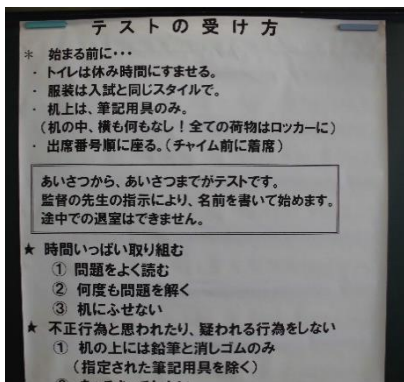
朝学習の様子



1年生の試験の様子

○ 試験の受け方。

1学期末考査の日に、各教室の黒板に試験の受け方が書いてあったり、貼ってあったりしました。試験を受ける時に、この試験を受けるための注意を受けると、厳粛な気持ちになります。皆さんはいかがだったでしょうか。



今回は、なんだか1学期末考査特集号のようになってしまいました。

